

美瑛岳

美瑛町立美瑛中学校
学校だより
令和6年8月号

「熱い想い」

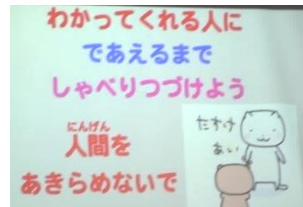
校長 金山 達也

午前中は雨の予報なのに、曇りの状態が続き、たまに晴れ間、時には雨と「北海道の梅雨？」を感じた日が多かった夏休みでした。

19日の始業式では、生徒会長からの文化祭等に向けた取組の方向性が語られ、その後、各学年代表から、夏休みの反省やがんばったこと、そして、今後の抱負が話されました。40年ほど昔の自分自身の夏休みの過ごし方は、あまりみなさんに偉そうに話せる内容ではないため、本当に立派だなと感心していました。私からは、オリンピックの話題を通して、「言葉の重み」について、ふれました。小さい頃からの夢であり、目標でもあるオリンピックに一心不乱に努力を続けてきたアスリートたち。そのアスリートたちに向けられる誹謗中傷の言葉。日本だけでなく世界の問題として、取り上げられることが多くなっています。SNSは便利なものであることは事実です。でも使い方を間違えると一生後悔することにつながります。みなさんの家庭や、手の中にあるスマホは世界とつながっていること。一度送信ボタンを押してしまうと取り消すことはできないこと。一瞬ですべてを失い、一生後悔する危険なものにもなることを意識して使わなければなりません。

ちょっと話が変わりますが、7月18日から19日にかけて、2学年の宿泊研修が実施されました。7年ほど前から、従来の宿泊研修（美瑛町白金の大雪青少年交流の家での体験学習が中心）を見直し、美瑛町のご支援を頂きながらキャリア教育の一環として新たに構築し直した行事です。札幌圏を中心として、上級学校である専門学校の見学体験等を実施しています。その1日目に有名なドラマ「下町ロケット」のモデルとも言われる植松電機でのロケット製作を体験してきました。ロケット製作の前に社長さんの講演を1時間ほど聞く機会がありました。最初は、なんとなく聞いていた2年生でしたが、どんどん社長さんの言葉（熱い想い）に引き込まれていきます。メモを取り出す人がどんどん増えていきます。「思うは招く、夢があればなんでもできる」「不安のむこうに喜びがある」「夢をしゃべろう！いつか仲間とつながる」「夢はぼんやりしててよい」「『どうせ無理』という言葉は絶対使わない」・・・ある生徒に見せてもらった宿泊研修のしおりは、社長さんの言葉であふれていました。植松電気を離れる時にできた長蛇の列。製作したロケットやしおりに直筆サインを頼んでいました。その光景をみて、社長さんの熱い想いを込めた言葉が伝わったと感じました。

人に勇気を与え、エネルギーにもなる「言葉」。でも、使い方を間違えると人を傷つける凶器にもなりえます。相手のことを考えながら、大事にしていねいに使っていきたいものです。ちなみに、先生が今回印象に残った社長さんの言葉は、「仲間を探したい」です。私たちの人生は仲間を探す旅とも言えるかもしれません。



R6 宿泊研修「植松電機社長の講話より」

文化祭に向けて

9月7日（土）の文化祭に向けて、毎日練習や準備に励んでいます。今年のスローガンは「CANVAS～互いを認め合い、一人ひとりが個性を描く～」となりました。美瑛中一人ひとりの良さが描かれた文化祭になることでしょうか。今年も観覧スペース等の都合上、来賓とご家族の皆様限定とはなりますが、たくさんの皆さんにご覧いただければと思います。ご家庭には先日配布しました案内より、ご来校されるご家族の人数等を回答いただくようお願いしております。ご協力の程よろしくお願いたします。



欠席連絡について

今年度4月より試験的に行ってきました、フォームでの欠席連絡ですが、先日ご協力いただいた学校評価アンケートで「継続してほしい」との回答が多くありました。これを受けまして、正式にフォームでの欠席連絡を引き続き進めてまいります。あらためまして4月にご説明した方法・ルールで行います。裏面に運用方法を再掲しましたので、ご確認ください。

自然災害等、緊急時の避難対応について

今年は1月に能登半島地震、8月にも宮崎県を中心とした地震が発生し津波注意報もでました。また、ここ数日、関東地方で激しい雷雨が続いています。十勝岳の噴火が間近かという話が聞かれるようになりずいぶん経っています。緊急時の対応につきましては定期的に確認する必要があると思われます。美瑛町の防災ガイドブックをご覧ください。分かりますが、洪水・土砂災害、火山噴火災害のどちらにおきましても、美瑛中学校は「指定避難所」となっております。ですので、在校中に災害が発生した場合はそのまま残り、ご家族が迎えに来られるまで待機し、合流する形となります。自宅や登下校中は最寄りの避難所に移動することになります。バスを利用している場合は運転手さんがセンターと連絡をとり、適切な避難所に移動します。どこへ・どのように避難するのか、ご家族で確認をしておくようにしましょう。

大活躍、吹奏楽部

吹奏楽部は8月3日（土）、北海道吹奏楽コンクール旭川地区予選に出場し、見事金賞を得ることができました。あと一步、全道には進めませんでした。が大変すばらしい演奏でした。また、8月18日（日）には陸上自衛隊第2音楽隊の演奏会に、8月22日（木）



には京都大学交響楽団の公演にそれぞれゲスト出演しました。さらにこのあと、9月1日（日）には「びえい出会いふれあい祭り」にて発表があります。ハードスケジュールではありますが、演奏のたびに町の皆さんが喜んでいて、美瑛中吹奏楽のファンの方がたくさんいらっしゃるのことがわかります。